

学校評価結果報告

宮城県加美農業高等学校 学校評価委員会

1 学校評価の実施

- ① 調査回数・方法 1回 質問紙法
- ② 実施日及び対象

対象	実施期間	人数	備考
ア 教員	令和3年11月15日～11月26日	49名	
イ 教職員	令和3年11月15日～11月26日	61名	
ウ 生徒	令和3年11月5日～11月24日	182名	※全生徒
エ 保護者	令和3年11月5日～11月24日	170名	※全生徒の保護者(世帯数)
オ 外部学校関係者	令和3年11月5日～11月24日	12名	

③ 回収状況

対象	令和3年度	令和2年度
ア 教員	100% (49/49)	(100 %)
イ 教職員	83.6% (51/61)	(100 %)
ウ 生徒	99.5% (181/182)	(97 %)
エ 保護者	84.3% (145/172)	(83 %)
オ 外部学校関係者	100% (12/12)	(83 %)

④ 集計 学校評価システム SQS

2 調査結果

- ① 自己点検・自己評価 : 別添資料A(教員), B(教職員)による
- ② 学校関係者評価(生徒) : 別添資料C(生徒)による
- ③ 学校関係者評価(保護者) : 別添資料D(保護者)による
- ④ 学校関係者評価(外部学校関係者) : 別添資料E(外部学校関係者)による

3 まとめ

回収率は、生徒99.5%、保護者84.3%、教員・教職員90.9%、外部学校関係者は100%であった。昨年度に引き続き、保護者の回収率が80%以上となった。今後も回収率の向上を目指して、生徒を通じての協力依頼および耕心メールを活用した声かけを続けていきたい。

教員・教職員の結果では、調査45項目のうち42項目で肯定的な意見が80%以上であった。一方で「生徒の基本的な生活習慣確立に向けて、それぞれの場面で、かつ共通の基準で指導を徹底している」が77.6% \searrow (95.8%)と大きく下回り、「部活動が活発に行われている」が62.7% \nearrow (55.7%)、「施設設備の整備」が56.9% \nearrow (55.7%)と改善はしているものの引き続き課題となっている。その他「日常的に自らの研修に取り組んでいる」が86.3% \nearrow (73.8%)、「三教場の連携による教育効果」94.1% \nearrow (昨年83.6%)の肯定的な意見は年々回復し意識の表れと思われる。今後も連携体制を維持に努めていきたい。

生徒の評価は、県教育委員会が定めたすべての項目の肯定的な割合が85%を超えている。「部活動」91.2% \nearrow (86.5%)、「いじめの早期発見」86.7% \nearrow (86.5%)と改善傾向が見られる。その他の項目では、「施設設備の整備」87.3% \nearrow (79.3%)、「ほぼ毎日予習や復習の時間を持つ」肯定的87.3%(79.3)と、エアコンの設置やわかりやすい授業への取り組み成果と捉え、学習習慣の確立を目指していきたい。

保護者の評価については21項目中19項目で肯定的意見が80%を超えている。「教員やスクールソーシャルワーカーが必要な時に相談に応じてくれる体制ができています」が92.5% \nearrow (87.9%)と、周知から利用が上がった成果と思われる。一方で「いじめの情報の共有」74.0% \searrow (77.6%)、「避難方法の共有」76.0% \searrow (79.4%)と数値が低下し70%台となっている。外部学校関係者の評価は、肯定的な割合は全項目85%以上で高かった。

自由記述においては、ほとんどは農業高校らしい取り組みを今後も期待したいという肯定的な意見が多くあった。以上の結果をうけて、今後の学校運営に活かしていきたい。